

苦勞しながらも がんばりました ~木工教室

今年も大竹盛栄さんと石井由美子さんにお世話になり、木工教室でのこぎりを使って工作をしました。今回は薄い板を自分が引いた線通りに切る作業でしたが、大きく動かすとなかなかうまく切れず四苦八苦していました。「難しい!」と言いながらも何とかあきらめずに頑張るのこぎりを使っている4年生に成長を感じました。



大人になって どんなこと?

11月に保健の学習と「いのちの授業」で思春期の体や心の成長について学びました。保健室の吉田真由美先生が作ってくださった「大人への準備」のカードには、学習前と学習後のお子さんの大人に対する考えなど、今のお子さんの思いが書かれています。真由美先生と担任の私が読んでみると、「こんなことに気付いたのか、成長してるなあ。」「確かにそうだな。深いなあ。」と感じる言葉がたくさんありました。お子さんが考えている「大人」について、ぜひ、ご覧ください。コメントを書いたり、学校に戻したりする必要はありません。

新鼓笛隊の準備が始まりました

今週の17日(火)に来年度の新鼓笛隊編成に伴うオーディションを行いました。自分がどのパートを担い、自分の役割を果たしていくか、鼓笛隊のオーディションが高学年の仲間入りをする第一関門でもあります。自分が希望するものを選び、2週間の練習期間を経てのオーディションとなりました。

休み時間や朝の時間を使っての練習にも真剣に取り組んで、臨んだ当日。緊張しながら演奏や演技をしていました。どの子も練習の成果を発揮していて、レベルの高い演奏や演技に、驚かされました。しかし、定員があるので、現実には合格して喜んでいる子、不合格になってがっかりしている子と、結果で分かれています。結果はそれぞれ違いますが、自分で選択してそれに向かって努力したことは嘘はつきません。合格した子も、選ばれなかった子も、挑戦した自分に誇りをもって次のステップを目指してほしいと思いました。これから先にもこんなふうにドキドキしたり、「やった」と大喜びしたり落ちこんだりしていくことが待っているんだなあと、しみじみ思いました。

もうすぐ 冬休み

あと2日登校すると冬休みです。子ども達は冬休みの楽しい計画を話題にすることが多くなりました。クリスマスに大晦日お正月など、家族で過ごす時間が増える素敵な季節ですね。大そうじやお正月準備など、忙しい時期ではありますが、家族の思い出として子ども達の記憶にずっと残ることでしょう。2週間のお休みを充実したものにできるような計画を立てていきたいと思います。

学校においてある学習用具の持ち帰りも始まりましたので、お道具箱や絵の具・習字セットの中を確認をしていただき、点検・補充をお願いいたします。冬休み後の学習の準備になります。

<持ち帰らせたもの>

- 絵の具セット
- 習字セット
- お道具箱

※ 鍵盤ハーモニカとリコーダーは、学校で洗って乾かします。持ち帰りたいお子さんのみ持たせます。



来週の給食当番は、マイエフロンの準備をお願いいたします

冬休みまで2日間しかありませんが、ご協力をお願いいたします。給食当番については、お子さんにご確認をお願いします。